平成２８年第２回定例会９月議会　発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前１０時から開催されます。傍聴される方は議会棟３階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発　言　順　位

９月１３日（火）

（１）	山　崎	雄　史	議員	（真　誠　会）	……Ｐ　１
（２）	尾　倉	あき子	〃	（公　明　党）	……Ｐ　２
（３）	遠　藤	恒　司	〃	（未 来 市 民）	……Ｐ　３
（４）	辻　本	達　也	〃	（日本共産党）	……Ｐ　４
（５）	久　枝	陽　一	〃	（民 主 連 合）	……Ｐ　５
（６）	井　藤	圭　湍	〃	（真　誠　会）	……Ｐ　６
（７）	松　井	久美子	〃	（公　明　党）	……Ｐ　７

９月１４日（水）

（８）	永　井	俊　作	〃	（未 来 市 民）	……Ｐ　８
（９）	楠　本	美　紀	〃	（日本共産党）	……Ｐ　９
(10)	尾　仲	利　治	〃	（民 主 連 合）	……Ｐ　１０
(11)	三　好	宏	〃	（真　誠　会）	……Ｐ　１２
(12)	国　出	拓　志	〃	（公　明　党）	……Ｐ　１３
(13)	出　雲	晶　三	〃	（未 来 市 民）	……Ｐ　１４
(14)	宮　坂	祐　太	〃	（民 主 連 合）	……Ｐ　１７

９月１５日（木）

(15)	寺　井	吉　広	〃	（真　誠　会）	……Ｐ　１８
(16)	中　西	礼　皇	〃	（未 来 市 民）	……Ｐ　１９
(17)	北　川	貴　則	〃	（未 来 市 民）	……Ｐ　２０
(18)	丸　谷	聡　子	〃	（未 来 市 民）	……Ｐ　２３
(19)	家根谷	敦　子	〃	（スマイル会）	……Ｐ　２６
(20)	大　西	洋　紀	〃	（青　風　会）	……Ｐ　２７

※　順位については予定です。

平成２８年第２回定例会９月議会発言通告一覧表

（決算代表質問）

<table>
<tr><td>発言順位</td><td>1</td><td>委　員　名</td><td>山　崎　　雄　史（真　　誠　　会）</td></tr>
<tr><td>質問事項</td><td colspan="3">１　平成２７年度決算全般について
（要旨）実質収支が４０年連続の黒字との決算報告を受けており、市長就任２期目の最初の決算としては上々の結果となっている。人口増や、消費税の増税など、歳入増につながる要素があったが、どのような評価をしているのか。

２　教育費について
（要旨）子どもの教育施設の充実として、空調設備・トイレ改修を積極的に進めてきている状況の中、施設充実の現状把握と、その成果を問う。</td></tr>
</table>

（決算代表質問）

<table>
<tr><td>発言順位</td><td>２</td><td>委　員　名</td><td>尾　倉　　あき子（公　　明　　党）</td></tr>
<tr><td>質
問
事
項</td><td colspan="3">１　平成２７年度の決算状況について
（要旨）一般会計において単年度収支・実質単年度収支がともに平成２６年度と比べて、約１０億円以上改善された要因は何か。また、社会保障の安定財源として消費税が増税されたが、本市の施策への影響についてお聞きします。

２　地方創生の視点でのシティセールスと商業振興の取り組みについて
（要旨）人口減少・少子高齢化が進展する中、地方創生・定住拡大には地域経済の発展が欠かせない。都市間競争が激化しつつある今、シティセールスを初め、商業振興の取り組みが非常に重要と考えます。平成２７年度の取り組みの成果についてお聞きします。

３　卸売市場の指定管理者制度における成果について
（要旨）明石市公設地方卸売市場は、民間活力を生かした活性化を目指し、平成２７年４月から指定管理者制度を導入したが、その成果についてお聞きします。</td></tr>
</table>

（決算代表質問）

発言順位	3	委　員　名	遠　藤　　恒　司（未　来　市　民）

質問事項	**１　指定管理業務の運営状況について** （要旨）指定管理者制度の狙い、本来の目的は達成されたか。 仕様のあり方に問題はないか。 プロポーザル方式は生かされているか。 付加価値の状況は。 **２　市債と資産の状況について** （要旨）大型事業等への投資の妥当性は。 資産全体における市債のバランスは。 **３　こども医療費助成事業について** （要旨）乳幼児、小学生、中学生の医療費の増加状況は。 中学生の医療費無料化の成果と課題は。 **４　コミュニティ交通運行事業（たこバス、たこバスミニ）について** （要旨）本来の目的は達成されているのか。 採算状況は。 不採算路線への取り組みと今後の取り組みは。 **５　街路灯費の電気料金について** （要旨）電気料金の削減策は。 ＬＥＤ化の取り組みは。 **６　小・中学校の電気料金について** （要旨）小学校、中学校の電力会社との契約は個別か、一括か。 競争入札制度の導入の状況は。

（決算代表質問）

発言順位	4	委　員　名	辻　本　　達　也（日 本 共 産 党）

質問事項

１　査定ボーナス・査定昇給制度について

（要旨）運用状況と効果について問う。所期の目的を達成しているか、認識を問う。

２　こども医療費助成事業について

（要旨）制度実施にあたり、いわゆるコンビニ受診の増加等による医師への負担増や財政的影響などについて懸念の声があったが、実態はどうか。成果と効果並びに制度実施による影響について問う。

３　谷池公園用地の地盤沈下について

（要旨）当該年度の取り組みについて問う。

４　あかし斎場旅立ちの丘火葬場棟の亀裂について

（要旨）原因究明と再発防止に関する市の認識を問う。

５　交通政策について

（要旨）ＪＲ大久保駅以北の住民を対象に行われた明石市のバス交通に関するアンケート調査の結果と、バス路線拡充を求める住民の声に対する市の認識を問う。また、コミュニティバスの役割について市の認識を問う。

６　シティセールスについて

（要旨）転入促進キャンペーンの成果について市の認識を問う。

（決算代表質問）

発言順位	5	委　員　名	久　枝　　陽　一（民　主　連　合）

質問事項

１　平成２７年度決算状況と今後の課題について

（要旨）単年度収支については、黒字に転換し、財政指標もおおむね前年度を上回る状況となっている。しかし、子ども関連施策の拡充、中学校給食や中核市移行に伴い今後の歳出増が懸念される。また、高齢者が増加することから、介護保険事業特別会計などへの繰出金も増加するであろう。今後ますます財政が厳しくなる状況において、新たな施策を実施するには健全財政を維持していくための検討を充分に行うことが必要であると考える。市長の考えを示されたい。

２　市債と基金のあり方について

（要旨）明石市の市債現在高は県内の他市町と比較しても少ない状況にあることは評価できる。しかし、基金現在高においても少ない状況にあることは考慮しなければならない。基金はいざと言う時の貯えであるので、多額の基金は安心感につながるが、反面、市民の税金を有効利用できていないことにもなる。市債現在高、基金現在高の適正な金額はどの程度と考えているのか。

３　ふるさと納税の課題と取り組みについて

（要旨）明石市への寄附者が少なく、明石市民が他市へ寄附する額の方が多いのではないかと想像する。流出を含めて考えると市民税の増減はいくらになるのか示されたい。ふるさと納税は市のＰＲ効果もあるのでもっと充実を図るべきだと思うが、市の考えを示されたい。

４　市税の徴収率の現状と取り組みについて

（要旨）市税の徴収率は年々改善されて９４．２％まで上昇した。納税の義務の観点から１００％徴収するべきものだとは思うが、現実的な目標はどの程度と考えているのか。特に、滞納繰越分の徴収は費用対効果が低いのではないか。

５　財政健全化に対する取り組みについて

（要旨）財政健全化に対する取り組みとして人件費の削減を図り、一定の効果も出ているが、市民サービスの低下を招かないかとの懸念もある。正規職員以外の職員のモチベーションを向上させることが必要と考えるが、現状認識と対策について考えを示されたい。また、業務委託などにより歳出の削減を図ってきたが、民間活力の活用について、今後の方針を示されたい。

（一般質問）

発言順位	6	議　員　名	井　藤　　圭　湍（真　　誠　　会）

発言事項	**１　中学校給食の開始について** ⑴　西部学校給食センターの状況について （要旨）調理時間、人員、調理機材、調理内容等について、給食センターの機能を十分に活用した運営体制ができるのか伺う。 ⑵　食材提供の状況について （要旨）中学校給食では、地産地消がテーマの一つになっているが、地産地消の取り組みも含めた大量の食材提供の環境は整備されているのか伺う。 ⑶　大蔵、高丘、魚住中学校での受け入れ態勢について （要旨）大蔵、高丘、魚住の３中学校の受け入れ設備や、食育教育の一環としての学校側の受け入れ態勢について問う。 ⑷　全中学校における給食実施について （要旨）平成３０年度から全中学校で実施すると聞いているが、今後の予定等を伺いたい。

（一般質問）

発言順位	7	議　員　名	松　井　　久美子（公　　明　　党）

発言事項

１　議案第７５号　平成２８年度明石市一般会計補正予算（第２号）のうち、こどもの居場所創出事業について

⑴　こどもの居場所創出とこども食堂の今後の展開について

（要旨）補正予算５００万円を使っての今後の事業展開について聞く。

⑵　本事業における地域での学習支援の展開は。

（要旨）以前より私は、厳しい家庭環境にある世帯には、地域での学習支援の必要があると訴えてきましたが、本事業において、地域での学習支援をどのように位置づけ、今後どのように展開していくのか。

２　食品ロス削減への取り組みについて

⑴　まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品ロスに対して、また、事業系と家庭系が半々と言われている現状に対しての市の認識は。

（要旨）生ごみの削減、循環型社会の構築、資源の有効利用等の観点から、食品ロス削減への取り組みは大変重要である。

⑵　学校給食での食べ残しから生じる食品廃棄の現状について

（要旨）学校給食や、食育、環境教育を通じて、食品ロス削減のための啓発をすべきである。

⑶　食品ロスの削減につながるフードバンクについての見解は。

（要旨）食品ロス削減のためには、未利用食品を提供する仕組みづくりが必要である。

３　明石ＤＭＯ（観光地域づくり組織）の設立を

⑴　明石市の観光の現状と、２０１９年の市制施行１００周年・明石城築城４００年に向けての観光戦略について

（要旨）１２月の明石駅前再開発ビルの完成、そして２０１９年の市制施行１００周年・明石城築城４００年記念行事、さらには２０２０年の東京オリンピックに向けての観光戦略を聞く。

⑵　観光庁が支援する日本版ＤＭＯを核とする観光地域づくり、明石ＤＭＯ（観光地域づくり組織）の設置を。

（要旨）日本版ＤＭＯを核とする観光地域づくりに対する国の支援の活用も含め、検討すべきである。

⑶　２０１８年度までに設置を予定している神戸ＤＭＯとの連携について

（要旨）これまでの観光施策は、各市町村単位で実施してきたが、外国人観光客は日本の各地域に足を運びたいとの思いがあるため、近隣市との連携した戦略的な取り組みが重要である。

（一般質問）

発言順位	8	議　員　名	永　井　　俊　作（未　来　市　民）

発言事項

１　働き方改革と長時間労働の是正について

⑴　地方公務員の時間外労働と労働基準法第３６条について

（要旨）労働基準法第３６条と地方公務員の時間外労働、いわゆる残業についての認識を聞きたい。

⑵　長時間労働の解消について

（要旨）職員１，８００人体制は、さらに職員を削減し、長時間労働につながると危惧している。長時間労働の解消対策について聞きたい。

２　同一労働同一賃金について

⑴　政府の同一労働同一賃金構想案に対する明石市の認識等について

（要旨）政府は同一労働同一賃金の実現により、非正規労働者に対して正規職員の８割程度の賃金保障を目指しているが、明石市の認識並びに今後の明石市への影響を聞きたい。

⑵　臨時保育士の基本給アップと同一労働同一賃金について

（要旨）保育士の確保のためには、臨時保育士の基本給を上げ、同一労働同一賃金の実現が必要であると思うが、市の考えを聞きたい。

３　最低賃金の引き上げと委託職員の賃金について

⑴　兵庫県の最低賃金と委託調理員の時間給の是正について

（要旨）兵庫地方最低賃金審議会が最低賃金を時間給８１９円とするよう答申したことを受けて、明石市の小学校や保育所で働く時間給８００円の委託調理員の賃金を、どのように指導し是正するのか。また、明石市にどのような影響をもたらすのか。

⑵　公共調達における適切な労働環境の確保について

（要旨）明石市が発注する業務等に従事する労働者の適切な労働環境をどのように確保していくのか。

４　東部中学校給食センターについて

⑴　東部中学校給食センターの出入り口について

（要旨）出入り口を国道１７５号だけでなく、安心安全のためにも市道西明石２号線を拡幅し、給食センターの南側にも出入り口を設置して、給食配送車等が出入りできるようにすべきではないか。

⑵　災害時の炊き出し提供システムの構築について

（要旨）震災等の災害対策として、東部中学校給食センターで災害時に被災者への炊き出しができるようにしておくべきだと思うが、考えを聞きたい。

（一般質問）

発言順位	9	議　員　名	楠　本　　美　紀（日 本 共 産 党）

発言事項

１　子ども・子育てについて

⑴　（仮称）明石市こども総合支援条例について

（要旨）①条例を作る目的は。

②「こども」をどう捉えているのか。

③平成２８年６月３日に児童福祉法が改正されたが、改正後の第１条が生かされた条例案になっているのか。

⑵　児童相談所の設置について

（要旨）①相談にかかわる明石の子どもの現状はどうなのか。

②現在、兵庫県の中央こども家庭センターが市内にあるが、明石市が独自に児童相談所を設置することによるメリットは。

③どのような職員が必要か。守秘義務や極めて高い専門性が要求されることから、正規雇用が必要と考えるが、いかがか。

⑶　子どもの貧困対策について

（要旨）①近年、貧困家庭がふえてきた要因をどのように捉えているのか。

②他市では、アンケートによる子どもの生活実態調査と生活保護世帯など貧困家庭の調査の２種類により実態把握をしているところもあるが、明石市の現状はどうなのか。

③（仮称）明石こども食堂プラスプロジェクトについて、今、全国的に子どもの居場所としてのこども食堂が立ち上げられているが、形態はさまざまである。市のモデル事業に指定されるための条件はあるのか。また、市はどのような形態が望ましいと考えているのか。

⑷　待機児童解消について

（要旨）①市は待機児童解消のための新たな保育士確保支援策を実施しているが、私立保育所等見学バスツアーの結果はどうだったのか。

②保育士確保のために、国家資格である保育士資格の受験の勧奨や、勉強する場所の提供などの支援ができないものか。

⑸　公立保育教諭の賃金格差について

（要旨）子ども・子育て支援新制度に移行し、二見では公立の認定こども園が開園されたが、職員は同じ資格で働いているにもかかわらず、賃金格差が是正されていない。早急に一本化するべきと考えるが、いかがか。

（一般質問）

発言順位	10	議　員　名	尾　仲　　利　治（民　主　連　合）

発言事項

１　明石の子ども達の状況について

⑴　明石の子ども達の貧困の状況把握について

（要旨）少し前までは、日本の子どものうち７人に１人が貧困だと言われていましたが、二年ほど前から６人に１人は貧困だと言われるようになってきました。日本全体から見た明石の子ども達の貧困の状況をどのように捉えていますか。

⑵　要保護、準要保護の児童生徒数に対する教育委員会の認識について

（要旨）学校間でばらつきがあると思われるが、明石市全体で見ればどのように受け止めているのか。

⑶　子ども達の置かれている立場を考慮した対策について

（要旨）教育委員会、こども未来部、福祉部などにまたがる対策になると思うが、現在の対策と今後の政策をお聞かせください。

２　子ども達が生き生きと学校生活が送れる環境づくりについて

⑴　教育委員会としての中学校給食導入の見解について

（要旨）中学校給食の導入について、教育委員会としての見解をお聞かせください。

⑵　中学校給食のリハーサルの検証について

（要旨）それぞれの学校が中学校給食導入のために取り組んできましたが、長所、短所があったと思います。９月１日のリハーサルの結果をどう受け止めているのか、お聞かせください。

⑶　放課後児童クラブを利用する児童がふえ、教室不足が深刻になっていますが、教育委員会の方策は。

（要旨）これまでは空き教室を放課後児童クラブ等に利用していた学校が多くありましたが、対象の児童がふえ、教室が足りなくなっています。教育委員会の方策をお聞かせください。

⑷　特別支援学級の認可について

（要旨）市内の小中学校の特別支援学級に入学を希望される保護者が増加していますが、校舎、教室整備、人的配置が不十分のままスタートしています。教育委員会の方針をお示しください。

⑸　空調設備導入について

（要旨）小学校にも２年間で設置していく方針が示されましたが、普通教室のみの設置となるのか、特別教室はどうするのか、その方針をお示しください。

発言順位	10	議　員　名	尾　仲　　利　治（民　主　連　合）

発言事項	**３　ＪＴ跡地利用について** ⑴　ＪＲ大久保駅南のＪＴ跡地の利用について、その後の対応は。 （要旨）さまざまな議論があると思うが、明石市としてはどのように対応しようとしているのか、お聞かせください。 **４　明石市が設置しようとしている児童相談所について** ⑴　児童相談所の中身について （要旨）子どもを育てやすいまちづくりを目指す政策の一環だと思いますが、中核市を目指す明石市は、どの分野に力を入れた児童相談所を設置しようとしているのか、お聞かせください。

（一般質問）

発言順位	11	議　員　名	三　好　　宏　（真　誠　会）

発言事項

１　シティセールスの推進について

⑴　「２０１６　Ｂ－１グランプリスペシャルｉｎ東京・臨海副都心」への取り組みについて

（要旨）１２月に東京で２０１６　Ｂ－１グランプリスペシャルｉｎ東京・臨海副都心が開催される。今回は、ご当地グルメの提供とともに、各市町村の魅力をＰＲすることも審査対象となり、多くの来場者が見込まれ、マスコミも大きく取り上げるイベントとなることから、明石の魅力を広く全国に発信できる機会である。

⑵　トップセールスの推進について

（要旨）企業では社長、市では市長が、メディア力のあるトップとして自ら動くことは、有効な広報手段だと考える。国では、安倍総理が牽引役となり日本ブランドを海外に売り込んでいるように、地方では、海外からの観光客の誘致や産品の販路拡大、企業の誘致などを目的に、積極的に国内外でトップセールスを繰り広げているところがある。トップセールスへの認識を聞く。

⑶　体制強化について

（要旨）イベントの洗練化・ストーリー化、マーケティングなどの専門的なスキルや、マスコミや民間企業などとのネットワークを持った人材が必要であると考える。先進市では、専門的な知識を持つ人材を積極的に登用しているが、実施体制の強化について、どのように考えているのか。

２　人口増に伴う懸案事項について

⑴　市税収入について

（要旨）平成２５年から人口増に転じているが、これからも選ばれるまちになるためにも、また、都市間競争の時代を勝ち抜くためにも、これから乗り越えなければならないいくつかの懸案事項があると考える。人口増に伴って市税収入（市民税・固定資産税等）も、それと比例して上昇傾向にあるのか。

⑵　自治会の加入率について

（要旨）転入された市民が住んだ地域では、自治会への加入率は向上しているのか。

⑶　ごみ出しマナーについて

（要旨）転入された市民に対するごみ出しカレンダーの配布はもちろんのこと、分別も含めたごみ出しマナーの徹底はされているのか。

⑷　今後の定住策について

（要旨）一時的な人口流入で終わらせることなく、定住人口となるよう方策を講じる必要がある。

（一般質問）

発言順位	12	議　員　名	国　出　　拓　志（公　　明　　党）

発言事項	**1　防災について** ⑴　防災士育成に対する本市の取り組みについて （要旨）昨年９月の本会議質問の答弁を受けて、その後の取り組みについて確認する。 ⑵　明石市として独自に防災士育成講座を開設しないか。 （要旨）市民レベルで防災士の育成に取り組むべき時期が来ているのではないか。 **2　西明石について** ⑴　西明石地域のまちづくりに対する市長の本気度と、今後の具体的な方策、方向性について （要旨）「次は西明石」との市長答弁の本気度と、いつまでに、どのようにしていくのか。今後の具体的な方策、方向性について問う。 ⑵　市長部局にプロジェクトチームを設置しないか。 （要旨）各部局が集まりプロジェクトチームをつくり、チームリーダーに市長に次ぐような横断的な権限を与え、取り組んでいく必要がある。

（一般質問）

発言順位	13	議　員　名	出　雲　　晶　三（未　来　市　民）

発言事項	**１　南海トラフ地震に対する市役所本庁舎について** ⑴　もし南海トラフ地震が発生した場合、本庁舎が受ける被害はどの程度か。 （要旨）南海トラフ地震の発生確率は、３０年以内に７０％とのことである。また、南海トラフ地震は震度６強と想定されている。建築後約４７年が経過し、旧耐震構造で２１年前に地震被害を受けた本庁舎は、南海トラフ地震の数度の揺れに見舞われたとき、どの程度の被害を受けるのか、想定を聞く。 ⑵　本庁舎の建てかえに向けた進捗状況について （要旨）南海トラフ地震を想定した場合、市民の生活を守るためには、復興の拠点となる強い市役所本庁舎が絶対に必要と考える。そして多くの職員のマンパワーも必要である。昨年６月の本会議において市長は、本庁舎の建てかえは、平成２８年度末に方向づけしたいと述べられている。建てかえ実施に向けた進捗状況を聞く。 ⑶　本庁舎建てかえに向けての市民参画について （要旨）市長は、市役所本庁舎は市民のものである。市民にとって何がいいのかという観点が重要であるとも述べられている。 本庁舎の建てかえに向けては、市民や学識者、各界の意見を聞く必要があると考える。市民参画についてどのように考えているのか。そのような機会を設けるとしたら、いつ、また、どのような形で設けるのかを聞く。そして、市民から検討資料の開示を求められたら提供すべきであると考えるが、市の見解を聞く。 ⑷　本庁舎建てかえ予算も含めた、将来的な健全財政の持続性について （要旨）本庁舎の建てかえには国県補助金が交付されないため、市独自でかなり大きな予算が必要になる。明石市としては、これからも多くの新規事業を計画し、将来に向けて恒常的な予算措置が必要になるものと考えられる。本庁舎建てかえの予算も含めて、将来的に持続可能な健全財政が構築できるのかを聞く。

発言順位	13	議　員　名	出　雲　　晶　三（未　来　市　民）

発言事項

２　小規模小学校について

⑴　小規模小学校（３校）の問題点と対策の検討について

（要旨）本年８月９日、財政健全化推進協議会での実行計画（素案）を踏まえ、新聞に、大観小、対策を早期に検討と報じられた。王子小、貴崎小についても、地域住民や保護者の要望がある場合などに、規格適正化に向けた対策を検討するとも書かれていた。小規模小学校にはどのような問題点があり、なぜ早期に対策を検討しなければならないのか。そして、どのような対策がとれるのかを聞く。

⑵　地域住民や保護者への対応について

（要旨）小学校はまちづくりの拠点であり、地域のコミュニティと地域文化の拠点でもある。小規模小学校として問題がやぶから棒に昨年から数度にわたり報じられた。報道を見たり聞いたりした地域住民や保護者は驚いている。この報道による波紋に市はどう対処するのか。また、地域住民や保護者の思いにどう対応していくのかを聞く。

⑶　教育施設である小学校を財政健全化で論じることについて

（要旨）小学校はまさに子ども達の人間形成の場である。その人間形成にとって大事な小学校教育の施設を財政健全化で論じることは愚かであると考える。小規模小学校の問題については、教育委員会が子ども達にとって学校がどうあれば良いのか、保護者や地域住民はどう考えるかを調査し、丁寧な議論をすべきと考える。教育委員会の見解を聞く。

３　山陽電鉄連続立体交差第２期事業について

⑴　山陽電鉄連続立体交差第２期事業の進捗状況と、これからの工事工程について

（要旨）仮跨線橋撤去工事は昨年６月２０日に無事竣工した。全事業の竣工は平成２９年度末と聞いているが、本事業の進捗状況、竣工までの詳しい工事工程について聞く。

⑵　地域住民が要望する国道２号の横断歩道設置について

（要旨）多くの地元住民や連合自治会並びに各種団体が、国道２号上で西新町２丁目東と西新町３丁目東を結ぶ、信号機つき横断歩道の設置を要望してきたが、最近になって設置が難しいと聞いた。信号機つき横断歩道の設置について、これまでの経緯と設置の可能性を聞く。

発言順位	13	議　員　名	出　雲　　晶　三（未　来　市　民）

発言事項	⑶　高架下の具体的利用案について （要旨）事業終了後、高架下に空きスペースができる。高架下利用について、具体的な利用案を聞く。 **４　明石川の治水とＪＲ橋梁について** ⑴　明石川にかかるＪＲ橋梁の改修について （要旨）明石川にかかるＪＲ橋梁は、老朽化している。また、ＪＲ橋梁の西側下の土手が１０メートル突出している。昨年の９月議会の答弁で、兵庫県は平成２８年度にＪＲ橋梁の改修工事の詳細設計に着手する予定であると聞いた。県は詳細設計に着手したのか、改修工事の進捗状況と事業の着工時期についても聞く。 ⑵　明石川流域の治水対策と河川敷のしゅんせつについて （要旨）明石川流域の住民は、大きな台風が来るたびに水害の心配をしなければならない。公が平時に行う河川改修や雨水管整備など、ハード面の対策が不可欠である。今後どのように明石川流域の治水や浸水対策を進めていくのか。また、多くの砂利がたまり、大きな木が繁茂している河川敷のしゅんせつをすべきであると考えるが、見解を聞く。

（一般質問）

発言順位	14	議　員　名	宮　坂　　祐　太（民　主　連　合）

発言事項	**１　コンパクトシティ・プラス・ネットワークの形成について** ⑴　明石市都市ビジョン（素案）に盛り込まれたコンパクトシティ・プラス・ネットワークの形成について （要旨）昨年９月議会で取り上げたコンパクトシティ・プラス・ネットワークについて、明石市都市ビジョン（素案）では「更に推進」、「更に発展」、「全国に先駆けた究極に住みやすいコンパクトシティをめざす」との記載があり、積極的な姿勢を打ち出しています。そこで改めて、立地適正化計画の策定や、昨年９月議会では触れなかった情報通信のネットワーク化について、市の考えをお聞きします。 **２　地籍調査について** ⑴　地籍調査（官民境界等先行調査）の計画的な実施について （要旨）平成２７年度末時点の本市における地籍調査の進捗率は６３％であり、全国値５１％と比較して低い数字ではありません。しかし、２１年度の事業再開後、２７年度末までの事業の進捗は累計０．４５㎢（約１％程度）に留まっており、仮に進捗率１００％を目指すのであれば相当な年月と事業費を要することから、計画的な取り組みが必要であると思いますが、市の見解をお聞きします。

（一般質問）

発言順位	15	議　員　名	寺　井　　吉　広（真　　誠　　会）

発言事項	**1　災害対策について** ⑴　今年の熊本地震・台風を受けての災害対策について （要旨）本市においても、求められる災害対策のあり方や、避難した被災者への大きな影響など、対応すべき新たな課題や問題点が明らかになったのではないか。熊本地震や台風災害を受け、市としてどのような認識や今後の災害対策に関する問題意識を持っているのか。 ⑵　災害時要支援者対策について （要旨）避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例が施行された。名簿情報の提供が定められたが、現状はどうか。また、要支援者の安全確保についてはどうか。 **2　介護保険制度改正による本市の対応について** ⑴　要支援者及び二次予防事業対象者のこれまでの推移と今後の見通しについて （要旨）要支援者及び二次予防事業対象者のこれまでの推移と今後の見通しはどうか。また、介護予防及び生活支援サービス事業の現状はどうか。 ⑵　新しい介護予防事業について （要旨）本市の新しい介護予防・日常生活支援総合事業の受け皿となる組織と事業内容について問う。

（一般質問）

発言順位	16	議　員　名	中　西　　礼　皇（未　来　市　民）

発言事項	**1　明石港の利活用について** ⑴　明石港砂利揚げ場について （要旨）明石港再整備への取り組みの現状を問う。 ⑵　フェリー乗り場跡地について （要旨）フェリー乗り場の跡地の見通しを問う。 **2　学校教育の充実について** ⑴　エアコン設置と夏休みの短縮について （要旨）小中学校へのエアコンの設置に合わせて夏休みの短縮を検討するべき。 ⑵　プログラミング教育への対応について （要旨）必修化に向けての取り組み、研究、先行実施等への考え方を問う。 **3　学校給食費について** ⑴　小学校での給食費徴収について （要旨）小学校での学校給食費徴収を教育委員会で行うべき。 ⑵　給食費の公会計化について （要旨）中学校給食の全校実施に合わせて給食費の公会計化を目指すべき。

（一般質問）

発言順位	17	議　員　名	北　川　　貴　則（未　来　市　民）

発言事項

１　福祉の充実について

⑴　目の不自由な方々が、安全に歩ける対策は万全ですか。

（要旨）先月、東京の地下鉄駅で盲導犬を連れて歩いていた視覚障害の方がホームから転落し死亡されました。常に緊張を強いられるという駅のホームで、目の不自由な方が、今後こうした転落事故で命を失うことを防ぐことはできないのでしょうか。明石のまちは安心して歩くことができているのでしょうか。安全に歩ける対策の充実に向け、事例も交えてお聞かせください。

⑵　高齢者の住まい探しの生活支援サービスについて

（要旨）低所得の高齢者の方の体験談で、引っ越しをしたくて不動産業者に行っても契約を断られたなど、貸主や不動産業者が高齢者を敬遠する傾向があるとの報道を目にしました。他の自治体では事情や希望条件を伺い、条件に合う物件情報を提供したり、契約や引っ越しの支援をしたり、後々も安心して生活が送れるよう生活支援サービス情報の提供を行っている事例を見受けました。本市の現状をお聞かせください。

２　「日本一安全なまち明石」の実現のための危機管理について

⑴　海のまちである明石の津波対策はどのように進められていますか。

（要旨）いつ起こっても不思議ではないとまで言われている南海トラフ地震。起こらないことを祈りながらも、万が一に備えた本市の取り組みをお聞きします。

⑵　ゲリラ豪雨など、大雨によってもたらされる浸水被害での災害弱者の避難計画はどのように定められていますか。

（要旨）台風１０号は、北日本に大雨により甚大な被害を引き起こしました。特に高齢者の方々が入居されていたグループホームでは、水位が天井まで上がり９名の方の命が奪われました。避難計画が遂行されていればと、悲劇が起こった後はいつも悲しい後悔だけが残ります。未来永劫、惨事が繰り返されないことを祈りながら、本市の取り組みをお聞きします。

⑶　中心市街地エリアを担う老朽化した船上浄化センターは万全ですか。

（要旨）巨費を必要とする下水処理場の整備は、一朝一夕ではできません。稼働後４０年を超え、老朽化した船上浄化センターが震災時に電力喪失などで機能停止してしまうと、たちまち明石駅周辺を含む中心市街地は排水能力を失います。たとえ震災で被害を免れた市民の方でも、生活復旧はできません。また、たとえ膝から下の冠水であってもおろそかにしない安全対策についてお聞かせください。

発言順位	17	議　員　名	北　川　　貴　則（未　来　市　民）

発言事項

３　市民病院について

⑴　十分な機能を果たせているのでしょうか。

（要旨）患者さん中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応えるという基本理念のもとで救急医療や地域医療機関との連携に力を入れていると思いますが、地方独立行政法人化の成果はどれだけ上がっているのでしょうか。

⑵　平成２９年度以降の医師確保、現在の診療科目は維持されるのでしょうか。

（要旨）医療の高度化が進む中、３０万都市、明石市立の名のもとで頼られる中核病院のあるべき姿が示されることを願いながらお聞きします。また、今後の取り組みもお聞きかせください。

４　泉市政の新たな課題と問題点について

⑴　県との関係の中で、中核市移行に関連して移譲される児童相談所、動物愛護センター業務の不安事項について

（要旨）従来、県がこれらを担ってこられましたが、本市が担っても問題のないことは当たり前です。ただ、駅前図書館の抜け駆けなど、県から度重なる不信を招いてきた市長の言動で、従来の厚い信頼関係の崩壊を感じる今日、運営に不安を感じます。大丈夫でしょうか、見解をお聞かせください。

⑵　中学校給食のランニングコストの捻出について

（要旨）高齢化社会の進展により、本市の福祉などの義務的経費は今後ますます右肩上がりに増加し続けることになります。大切なのは、数々の新事業を支える持続可能な予算の捻出です。増税以外で税収を上げる工夫などの増収策なしに、職員給与のカットなどの一時的で重箱の隅を突くような方策では、自治体の破綻を招きます。持続可能な財源確保の見通しをお聞かせください。

⑶　保育料第２子以降の無料化で起こり得る想定内の混乱について

（要旨）保育所の待機児童ゼロは少子化に対応するために不可欠で有効な施策の一つです。残念ながら、これまで待機児童数を上回る定員増を行っても、新年度には入所希望者があふれ今日に至っております。そうした中、いきなりの第２子以降の保育料無料化では多くの需要が生じることが考えられます。所得制限、第３子以降での無料化など、段階を踏むこともできたと思います。現在、想定されている事項をお聞かせください。

発言順位	17	議　員　名	北　川　　貴　則（未　来　市　民）
発言事項	⑷　従来の顧問弁護士にかわった弁護士職員７名の成果について （要旨）全国的にも稀な、弁護士職員の大量採用から５年が過ぎました。来年１月には弁護士職員は９名になるそうです。過去、数人の顧問弁護士に委託していたころの費用と、７名の弁護士職員の費用を比較した場合、大きな成果はあったのでしょうか。また、行政訴訟などが起こされた際の態勢は万全なのでしょうか。		

（一般質問）

発言順位	18	議　員　名	丸　谷　　聡　子（未　来　市　民）

発言事項

１　兵庫ゆずりあい駐車場（パーキングパーミット）について

⑴　兵庫ゆずりあい駐車場の利用証交付窓口の設置について

（要旨）兵庫県は、平成２４年４月１日から障がい者や高齢者、妊産婦等で歩行が困難な方のために兵庫ゆずりあい駐車場（パーキングパーミット）制度を導入しており、県内各市町にも利用証交付窓口が設置されている。しかし、本市はいまだに設置しておらず、設置すべきと考えるが、市の見解を問う。

⑵　兵庫ゆずりあい駐車場の周知について

（要旨）利用証の交付が受けられれば、県内４，３４０区画（平成２８年７月末現在）を利用することができる。また、３５府県で相互利用も始まっており、いまや全国的な動きとなっている。しかし、本市においては、ゆずりあい駐車場のことを知らない市民も多い。今後は積極的な情報発信等による周知が必要と考えるが、市の見解を問う。

２　（仮称）明石市こども総合支援条例について

⑴　策定のプロセスについて

（要旨）子ども・子育て会議を主な審議の場として、関係機関等のさまざまな分野から意見を聞くとのことであったが、その審議や意見は、具体的にどのように条例に反映されているのかを聞く。

⑵　子どもたちの声を聞くことについて

（要旨）子どもたちの声をどのように聞き、その声はどのように条例に生かされているのかを聞く。

⑶　学校現場との連携について

（要旨）教育委員会は、条例策定においてどのような関与をしたのか。今後は、教育現場において学齢期に合わせたテキストや指導マニュアルの作成、教員への研修やスキルアップ等、教育分野での取り組みが重要だと考えるが、市の見解を問う。

⑷　条例策定後の施策展開について

（要旨）子どものＳＯＳを迅速に受け止め、適切な救済活動を行うためには、第三者機関の設置やこども会議の開催、大人と子どもが共に交流し学び合う場づくりなど、意見表明や参加の促進、情報発信、啓発等の仕組みが必要だと考えるが、具体的にどのように進めていくのか、市の見解を問う。

発言順位	18	議　員　名	丸　谷　　聡　子（未　来　市　民）

発言事項

３　地域エネルギー政策推進に向けた取り組みについて

⑴　本市の地域エネルギーの現状と課題、今後の取り組みについて

（要旨）本市は、太陽光発電設備設置補助金や公共施設での太陽光発電、メガソーラー、ごみ焼却発電など、既にいくつかの地域エネルギー事業に取り組んでいるが、今後は新たな協働や発想で、さらなる創エネルギーへの転換が必要になってくる。現状を踏まえた上での課題と今後の施策展開に向けての市の見解を聞く。

⑵　地域エネルギーの活用による安全安心なまちづくりについて

（要旨）災害対応病院に指定されている明石市立市民病院に再生可能エネルギーやコージェネレーションを導入すれば、有事においても救命救急の機能を果たすことができる。避難所となる学校も同様である。公共施設を利用して太陽光や太陽熱等による地域エネルギーを創り出すことができれば、安全安心なまちづくりにもつながると考えるが、市の見解を聞く。

⑶　明石エネルギー計画（ビジョン）策定について

（要旨）再生可能エネルギーは、豊かで健全な生態系サービスを保った上で取り組む必要がある。また、自治体ＰＰＳ（特定規模電気事業者）、市民発電所との協働事業、ソーラーシェアリング、下水処理場や浄水場、水道管を利用した小水力発電など、多様なセクションを絡めて再生可能エネルギーを創り出すためには、先を見通した明確な計画やスマートシティを目指すビジョンを定めて推進する必要があると考えるが、市の見解を問う。

４　農業振興とため池機能の見える化について

⑴　本市の農業振興の現状と課題について

（要旨）平成２７年７月に国が制定した都市農業振興基本法は、都市農業の安定的な継続と多様な機能の適切かつ十分な発揮を通じて良好な都市環境の形成に資することを目的としている。本市は今後、都市農業の振興においてどのような施策を進めて行くのか、見解を問う。

⑵　ため池が抱える課題と多面的機能の価値について

（要旨）ため池管理者や関係団体へのヒアリングやアンケートを踏まえた上で市の見解を問う。

発言順位	18	議　員　名	丸　谷　　聡　子（未　来　市　民）
発言事項	⑶　ため池の多面的機能の見える化について （要旨）ため池の水の経路図や、長年にわたって口伝によって受け継がれてきた水管理の手法や風習、治水機能、歴史、文化、景観、水草をはじめとする水生生物等の自然環境について、ため池ごとにデータベース化した、ため池カルテを作成し、地域や管理者に情報提供した上で適正管理を進めることが大事であると考えるが、市の見解を問う。		

（一般質問）

発言順位	19	議　員　名	家根谷　　敦　子（スマイル会）

発言事項	**１　ホームドアの設置について** ⑴　ホームドアの設置について （要旨）視覚障害者が駅ホームから転落する事故が起こっている。市内にはホームドアが設置されている駅はない。本市としての考えをお尋ねしたい。 **２　本市が取り組んでいる障害のある人への支援について** ⑴　民間福祉団体の活動拠点について （要旨）６月議会においても同様の質問をし、答弁もいただいたが、その後の進捗状況についてお尋ねしたい。 **３　新しくオープンする図書館の設備について** ⑴　障害者にも利用しやすい設備になっているのか。 （要旨）障害者にとっても利用しやすい図書館になっているのか、お尋ねしたい。 ⑵　子どもにも利用しやすい設備になっているのか。 （要旨）子どもにとっても利用しやすい図書館になっているのか、お尋ねしたい。

（一般質問）

発言順位	20	議　員　名	大　西　　洋　紀（青　　風　　会）

発言事項	**１　中核市移行に伴う児童相談所設置について** ⑴　中核市移行に伴う児童相談所の設置はいつ、どこで議論され、どのような形で決定されたのか。 （要旨）本年６月議会本会議において突如、児童相談所を設置するとの表明があったが、いつ、どこで議論され、どのような形で決定されたのか経緯を問う。 ⑵　中核市への移行に伴い設置義務がない児童相談所を設置する緊急性はあるのか。 （要旨）中核市移行に伴い設置義務のある保健所や動物愛護センターなどの施設とは違い、児童相談所は設置権限を与えられたのみであり、拙速に設置を進める必要性があるとは考えられないが、設置を急ぐ理由を問う。 ⑶　現在の中核市と新たに中核市への移行を表明している市で、児童相談所を新たに設置することを表明している市がない中、他にも課題が山積している本市がなぜ設置するのか。 （要旨）全国の中核市４７市のうち、児童相談所を設置している市は２市のみである。また、新たに中核市への移行を表明している市も含めて新たに児童相談所を設置することを表明している市がない中、なぜ本市は設置をするのか、必要性を問う。